

平成24年4月27日

各 位

会社名：東京瓦斯株式会社
代表者名：代表取締役社長 岡本 毅
(コード：9531 東証・大証・名証第1部)
問合せ先：総務部総務グループマネージャー 三橋 和夫
(TEL：(03) - 5400 - 3894)

コーブポイント LNG プロジェクトからの米国産液化天然ガス調達に関する 協議開始について

当社は、住友商事株式会社（代表取締役 取締役社長：加藤 進、以下「住友商事」）との間で、住友商事が米国メリーランド州コーブポイント LNG プロジェクト（以下「本プロジェクト」）の事業主である Dominion Cove Point LNG 社（ドミニオンコーブポイント LNG 社、以下「ドミニオン社」）と天然ガス液化加工契約の主要条件を取り決めた先行契約（以下「先行契約」）を締結し、最終合意に向けた協議を開始したことを受け、今後、当社と住友商事両社共同でドミニオン社と協議することに合意しましたので、お知らせいたします。

記

1. 合意概要

本プロジェクトは、ドミニオン社が、LNG を受け入れる基地として保有・操業しているコーブポイント LNG 受入基地（所在地：米国メリーランド州）に LNG 液化プラントを新たに建設し、米国内で生産されるシェールガスをはじめとした天然ガスを精製・液化して、LNG としての輸出を可能にするものです。

当社と住友商事は、これまで米国での天然ガス事業および日本への LNG 輸入に関する協業について検討を行ってきており、このたび、住友商事が先行契約を締結したことを受けて、当社と住友商事の両社でドミニオン社との協議を共同で進めることとしたものです。

なお、ドミニオン社と液化加工契約締結をした者は、自らが調達した米国産天然ガスを本プロジェクトの LNG 液化プラントで液化し、LNG を引き取ることができます。

【先行契約で取り決めた天然ガス液化加工契約の主要条件 概要】

契約数量：約 230 万トン／年（LNG 換算）
契約期間：LNG 液化プラントの運転開始から 20 年間

2. 理由

ドミニオン社は、今後、日本をはじめとする米国との FTA（自由貿易協定）非締結国向けの LNG 輸入許可やプラント建設承認、本プロジェクトの最終投資決定などを経て LNG 液化プラントの建設を開始し、2017 年に本プロジェクトの運転開始を目指しています。

また、住友商事は、2009 年に日本企業として初めて米国シェールガス開発への参画を果たし、現在、マーセラス・シェールガス権益を含む 2 つの権益を保有しているほか、同社の 100% 子会社である Pacific Summit Energy 社（パシフィック・サミット・エナジー社）が米国内でガストレーディング・マーケティング事業も手掛けており、本プロジェクトが最終合意に至れば、同社はガス上流開発から流通、液化、LNG 輸出まで、米国における天然ガス・LNG のバリューチェーンの

構築が可能になります。

当社は、「チャレンジ 2020 ビジョン」の中で、原料価格の低減に向け、非在来型 LNG を含む原料調達の多様化・拡大、また海外における LNG バリューチェーンの拡大を目指しており、本プロジェクトが最終合意に至れば、その実現に繋がるものとなります。

3. 今後の見通し

液化加工するための天然ガスは、住友商事が本プロジェクト近郊で参画しているマーセラス・シェールガス開発プロジェクトなどからの調達を予定しており、実現に至った場合は、シェールガスを含む米国産天然ガス由来の LNG を日本に輸入することとなります。

<ドミニオン社の概要>

社 名：	Dominion Cove Point LNG 社 (米国東部で発電、電力供給、ガス供給事業を営む Dominion Resources 社(ドミニオンリソースズ社)の 100%子会社)
住 所：	米国 ヴァージニア州リッチモンド
代 表 者：	Matthew R. Bley
事 業 概 要：	LNG 輸入基地の管理・運営、LNG の貯蔵

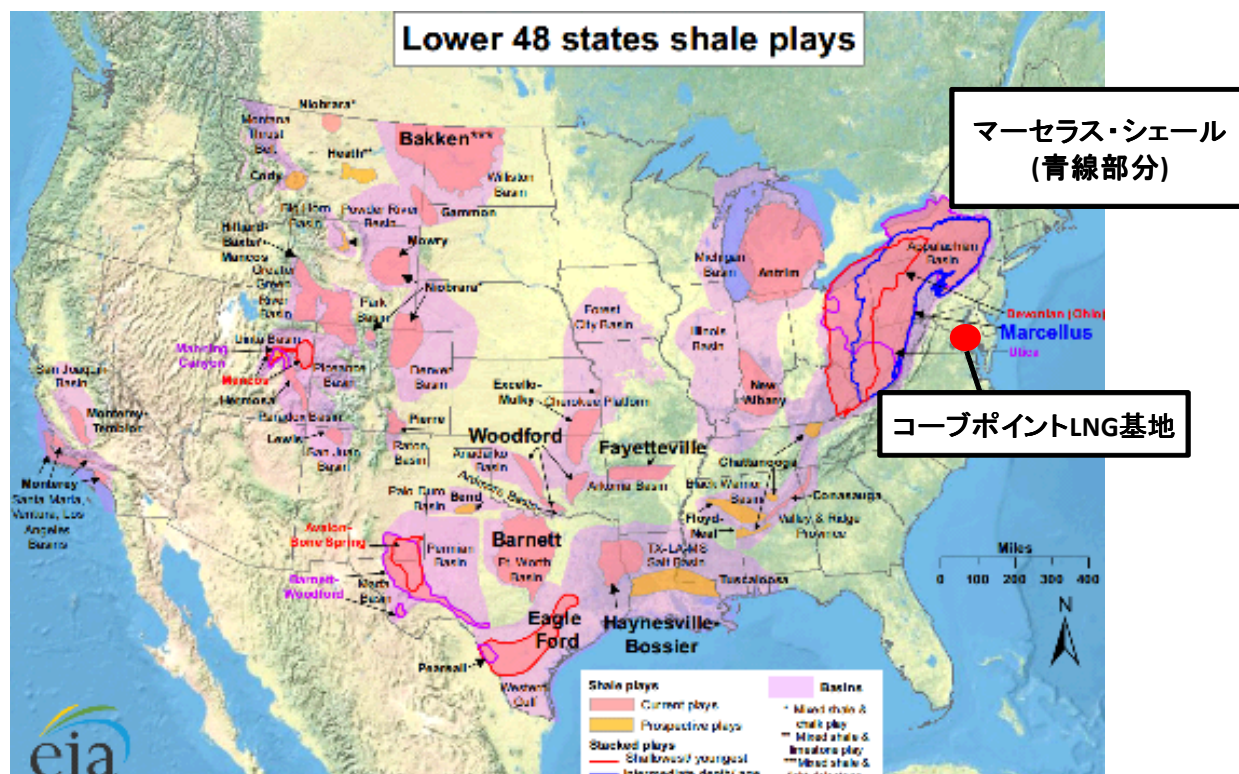
<コープポイント LNG プロジェクトの概要>

事業主体：ドミニオン社

所在地：米国メリーランド州

液化能力：約 500 万トン/年(予定)(※)

※ 2017 年に LNG 液化プラント運転開始予定。現在、LNG 受入基地として稼働中。



U.S. Energy Information Administration (米国エネルギー情報局)のHP掲載の地図を元に住友商事・東京ガスにて加筆。

以上